



令和5年度 第28号
令和5年10月12日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

教育実習が行われました。「ようこそ山下先輩」でした。



3年生原田学級では9月11日から3週間、教育実習が行われました。実習生は、山下梨咲子さん、我らが本荘小学校の2015年度の卒業生です。

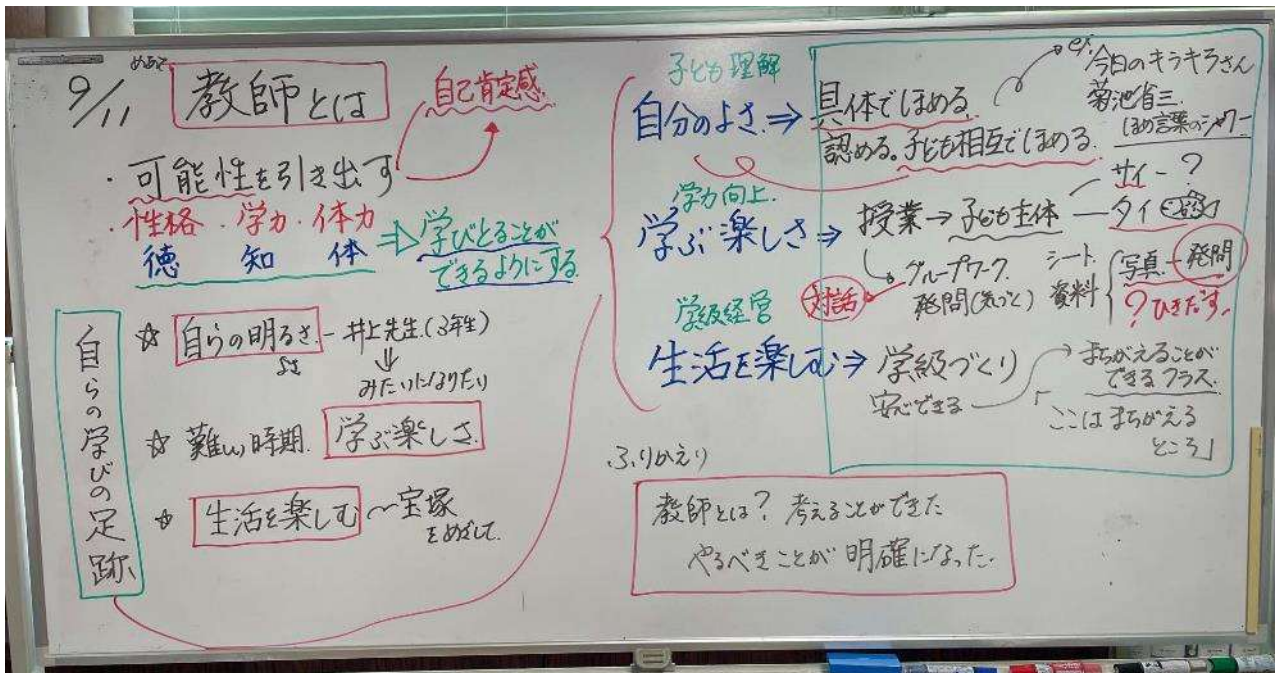
大変立派な教育実習が行われました。まず、実習生の頑張りがすばらしかったです。本荘小の先輩としてふさわしい、謙虚さと明るく元気な言動、そして、笑顔。「あいうえお いっぱいの本荘小」そのままの卒業生でした。指導する原田先生も毎日熱心に授業づくりや学級経営のアドバイスをしていただきました。さらに、元気でやさしい3年生。毎日、梨咲子先生について回り、一緒に遊び、一緒に学び、あっという間に3週間が過ぎてしまいました。裏面の写真は、教育実習初日に私が山下実習生に授業をした時の板書です。

これを見ただけでも、教師を目指す学生としてのポテンシャルの高さがわかりました。簡単にいいますと、「先生になりたい」「あの時、私を成長させてくれた、あの先生のような教師になりたい」という想いが伝わってきたのです。

強い想いは、実際に口に出すことで言語化され、行動化され、自分の目標達成へとつながっていくものです。大きな目標を達成した人々の多くは、自分の想いははっきりと口に出しています。時には「大口」「ほらふき」などという批判を受けられた方がいるかもしれませんが、しかし、多くの方が自分の目標を言語化することで実現していることが多いのです。山下実習生からはそんな教職に対する気持ちが伝わってきました。(裏面に続きます)

人の言動は、表情に表れます。その表情が、子どもの笑顔をつくります。実習生や若い先生が持つアドバンテージです。写真を見ていただければわかります。

子どもたちの先輩は、しっかりと教育自習をやり遂げ、大学に戻っていきました。子どもたちに印象的な明るい笑顔とすばらしい思い出を残して。(校長)



黒字：実習生の発言 赤字：校長の指導 青字：キーワード 緑字：実習生の学び 板書 by 校長

校長先生の虫眼鏡 「ハードル走」

少し前になりますが、4年生、3年生が合同体育でハードル走をしておりました。運動会にこの学習で学んだり身につけたりしたことが活かされるとよいですね。2年前、私が赴任した時には、まだ2年生と1年生でした。子どもはあっという間に成長するものです。

